

凸版印刷、AI 翻訳と専門家校正で新薬開発期間を短縮 製薬業界の膨大な過去訳データから構築した高精度 AI 機械翻訳を活用 製薬業界向け翻訳サービス「PharmaTra™(ファーマトラ)」の販売開始

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、製薬業界向け翻訳サービス「PharmaTra™(ファーマトラ)」(以下、本サービス)を2020年4月より販売を開始します。「機械翻訳サービス」と「ポストエディットサービス」の2種類のメニューを提供します。

*ポストエディット…機械翻訳の訳文を人手で後編集する作業

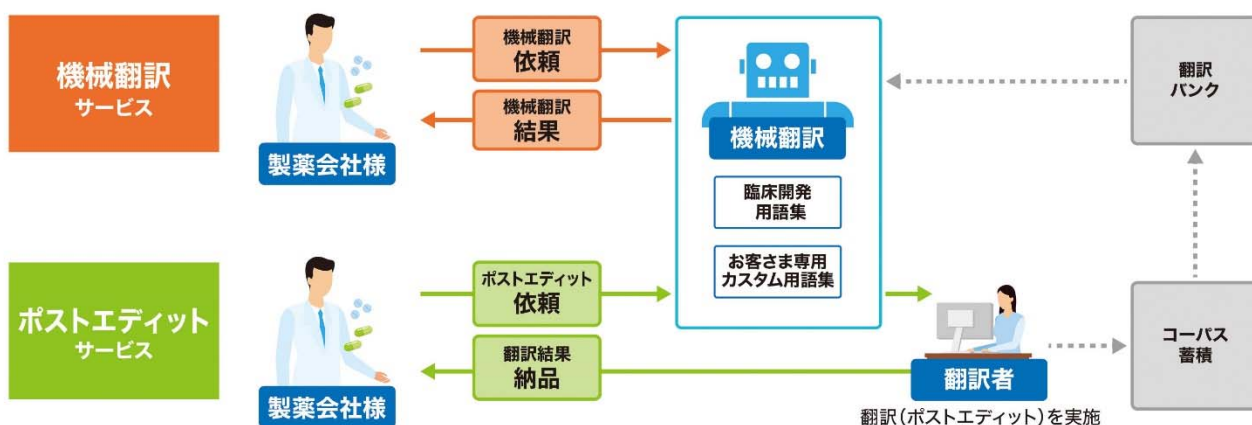
本サービスは、凸版印刷が提供する多言語音声翻訳アプリ「VoiceBiz®(ボイスビズ)」(※1)や「ジャパリングル®」(※2)をはじめとした多言語翻訳サービスのノウハウを活用し、自動翻訳に精通したシステム開発会社であるマインドワード株式会社(東京都新宿区、代表取締役 CEO:菅谷 史昭)、医薬専門の翻訳会社である株式会社アスカコーポレーション(大阪府中央区、代表取締役社長:石岡 映子)の協力のもと開発したものです。

「機械翻訳サービス」は、国立研究開発法人情報通信研究機構(理事長:徳田英幸、以下 NICT)と総務省が共同で推進する翻訳バンク®(※3)の一環として、世界の大手製薬会社の日本開発部門責任者の団体である R&D Head Club(RDHC)の8社から提供された300万文対を超えるコーパス(原文と訳文を対にして蓄積したデータベース)から深層学習で構築したAI機械翻訳を活用。加えて、実用的な臨床開発用語集を搭載することにより、新薬開発関連文書を中心とした製薬文書に特化した高精度な機械翻訳サービスです。翻訳バンク構想へ賛同する製薬会社からの過去訳集約を継続的に進めることで、さらなる翻訳精度の向上も実現します。

「ポストエディットサービス」は、機械翻訳を実行した後に、機械翻訳の特性を理解した医薬専門のポストエディターによる校正を連携したサービスです。高品質な翻訳を短納期で納品することができます。加えて、フォーマット編集や過去訳管理など顧客の環境に合わせて個別に最適な翻訳フローを提案、提供することも可能です。

本サービスを活用することにより、新薬開発における翻訳業務の時間短縮を実現。業務効率化や新薬開発におけるリードタイム短縮などに貢献します。

製薬業界向け翻訳サービス「PharmaTra」



製薬業界向け翻訳サービス「PharmaTra™(ファーマトラ)」の概要

■ 開発の背景

製薬業界において、複数の国が共同で治験を実施する「国際共同治験」や新薬承認申請を欧米と同じ資料をベースに実施する「世界同時申請」が主流となり、高品質・高速・低コストな翻訳へのニーズが高まっています。凸版印刷はこのたび、製薬業界向け翻訳サービス「PharmaTra™ (ファーマトラ)」の提供を開始。新薬開発関連文書を中心とした製薬業界に特化した翻訳サービスにより、翻訳時間の短縮を可能とし、新薬開発におけるリードタイム短縮に貢献します。

■ 製薬業界向け翻訳サービス「PharmaTra™(ファーマトラ)」の特長

・製薬専門の膨大な過去訳を学習した最先端の翻訳技術による高精度機械翻訳

NICT と総務省が共同で推進する翻訳バンク®の一環として収集した製薬メーカー8 社から提供された300 万文対を超える膨大なコーパスを学習した AI 機械翻訳を活用。臨床開発における専門用語集も搭載し、製薬関連文書の高精度な機械翻訳を実現します。※日英・英日対応

・「文字数」「ユーザー数」が無制限で使用可能な機械翻訳サービス

定額制で機械翻訳が「文字数」「ユーザー数」無制限で使用可能なプランを用意。コストを気にせず翻訳を行うことができます。製薬会社が契約をした社外翻訳依頼先も使用することができるため、社内利用から新薬開発に至るまで、製薬業界における翻訳業務全体を効率化します。

・継続的な精度向上が可能

翻訳バンク®構想に基づく製薬会社からの継続的なコーパス収集により、翻訳エンジンの精度を継続的に高めていきます。

・使用目的に応じて2種類のサービスメニューを提供

入力した文章を自動で翻訳する「機械翻訳サービス」と、機械翻訳に精通した医薬専門のポストエディターによる校正を組み合わせた「ポストエディットサービス」の2種類を揃えています。社内資料を翻訳する場合や社外翻訳依頼先を活用する場合は「機械翻訳サービス」、翻訳を事後校正まで一括で依頼する場合には「ポストエディットサービス」と、用途に応じ使用することができます。

■ 今後の目標

凸版印刷は、本サービスの拡販を進め、2025年度までに関連受注を含め約10億円の売上を目指します。今後は、特に専門性の高い翻訳ニーズの高まる金融・化学・エネルギー業界・学校などをはじめとしたさまざまな業界・分野に特化した翻訳サービスの展開を目指します。

また、凸版印刷は「健康・ライフサイエンス」領域を新たな成長領域の1つと位置付けており、誰もが健やかに生活できる健康長寿社会の実現に向け、さまざまな企業や専門機関とのアライアンスを通じ、食や運動、医薬に関連した効果的な製品・サービスの提供を進めていきます。

※1 VoiceBiz®(ボイスビズ)

翻訳は30言語から選択でき、固有名詞や定型文の登録に対応した多言語音声翻訳サービスです。翻訳エンジンには、NICTが開発を進める、深層学習を用いたAI翻訳技術を採用。

※2 ジャパリンガル®

AI翻訳技術とプロの翻訳者を組み合わせることで、低価格、短納期、安定品質を実現したクラウド型の翻訳サービスです。翻訳エンジンにはNTT東日本の「文化観光特化型AI翻訳サービスひかりクラウドcototoba」を採用。

※3 翻訳バンク®

総務省とNICTが自動翻訳システムの様々な分野への対応や高精度化を進めるため、オール・ジャパン体制で翻訳データを集積して活用する『翻訳バンク®』を2017年から開始。

- * 翻訳バンクは国立研究開発法人情報通信研究機構の登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。
- * 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上